

### 第3条 考えない、思い出さないときもいい

死を直視しないのもまた自由です。辛いから考えたくない、思い出したくない。そんな時は、いま自分が打ち込めることに力を そそげばよいのです。考えられるとき、思い出したいときに、そうすれば よいのです。亡くなった人はそんなあなたを責めないでしょうから。 リボン「大切な人をなくした人のための権利条約」より



5月15日(月)初夏の晴天の中、待ちにまった京都への参拝の日がきました。鈴鹿組団参 245 名、存仁寺からは 45 名 第 25 代専如門主伝灯奉告法要に出発しました。まずは、東山將軍塚青龍殿に参拝、大舞台から眺める京都の町は絶景かな。夜は夜景がきれいだろうなあ、氷をイメージした茶室、近くにある椅子に座るとひんやりと気持ちいい。山を下り一休庵での昼食を終え本願寺に。全国からの参拝で阿弥陀堂も御影堂も満席。鈴鹿組の席は御影堂北後席。厳肅なる法要と、ビデオで綴るご門主の生い立ちなど参拝のつどいを終え、帰敬式に。存仁寺 17 名の方を含め 170 名の方が受式されました。その中代表で駒田幸宏さんをご門主より法名拝受のお役に。緊張の中式が終わり、記念写真を撮りました。



5月13日(土)鈴鹿組仏教婦人会会長会議が存仁寺(会長寺院)にて持たれ、各寺会長さん、代理の方がご出席されました。鈴鹿組としての行事は、福祉施設清掃であるビハーク活動、本山念仏奉仕団、2回の研修会、教区・組の行事参加です。各お寺での取り組みなども話し合われ有意義な会議となりました。夜は、存仁寺仏教婦人会班長会議がもたれました。今年の新班長さんによる行事、会員さんの会費徴収など話し合いが持たれました。会長の堀裕子さん一日お疲れ様でした。







25日無量寿会第1回例会が勤まりました。岡田さん調声にて「正信偈」のお勤め、井関会長よりご挨拶。「恵みの雨になりました。麦も育ってきました。麦秋です。道端にはえんどうが出てきて、小さい頃、笛をつくって、鳴らして遊んだことがあります」と懐かしいお話。

住職の「浄土真宗〇×クイズ」と仏教讃歌、ゆっくりとティータイムと笑談の後、井関さんの体操と替え歌で、皆さん「元気に今日もひと時を持たせていただきました」と笑顔で次の例会を楽しみに帰られました。7月は湯ラックスに出かけます。



午前のマキ刈り作業に続いて午後仏教壮年会総会が持たれました。行事、決算予算について報告話し合いました。お茶をしながらの懇談。7月23日のバーベキューにはぜひたくさん会員さんご出席いただきたいことです。

## 閉じた心が開けたか・・・

平成二十九年五月十五日(月)



■お隣の奥さんが、娘夫婦と挨拶に来た  
何と娘さんの旦那さんは、アメリカ人  
実家を訪ねたのは、3年振りだと言う  
二歳に成る息子も一緒に連れて来た

■日本語が達者で、気が優しい青年  
彼女の留学先のサークルで知り合った  
彼女の優しさに魅かれ求婚したと言う  
米国でIT企業に勤めていると言う

■息子の自死が、人生行路を変えたのか  
夫婦の仲も、それ以来思いの行き違い  
「死んだら、全て無に成ると云い切り  
無宗教と言ひ張る、お隣のお母さん」

■孫を伴う娘夫婦の帰省に、満面笑み顔  
かけがえのない母を慕う、娘心を思い  
死んだら、全てが無になるは無いよと  
心の中でやさしく話しかけました

今年は庭の大改造を計画し4月末から着手しました。その最中に、お隣の奥様が、庭先から娘夫婦を紹介したいと挨拶に来ました。傍らでは無邪気に走り回る2歳になる孫がいました。アメリカから帰省し、4月29日～5月10日迄日本に滞在するとの事でした。帰省する娘夫婦の来日は3年振りとの事です。娘の夫はアメリカ人です。紹介するお母さんの様子が、いつもの表情とは違い、顔に笑みがありと見え、顔に笑みがありと見えました。記念にと、我が家の庭でビデオ写真を撮ったところ、奥さんよりその写真を欲しいといわれ、写真を撮る手に力が入りました。「死んだら無になるんでしょう、私は無宗教」と言う奥さんの顔に笑みが戻った瞬間でした。「両親を案じた娘夫婦が居るじゃない。決して無にはならないのだよ」と心で話しかける私がそこにいました。

北海道 大島義勝さん

葱坊主 すまし顔して 仏めく

みどり子の 目の輝くや 柿若葉

み佛に 使えし後の 新茶かな

地の恵み 静かに満ちて 麦熟る

塩かげん ほどよい旨さの えんど飯

薫風や 肌馴染みし ネックレス

明易し 夢で逢う亡夫 若かりし



落合登代子

先立つ方は、  
無言で私の人生を  
揺さぶる



札幌市

大島

光子

さん

何でも人間は、知り尽くしている  
それは、私が何も知らない  
証しである



真っ直ぐに

親様

したい

念仏申すのみ



朝倉市

森田

瑛子

さん

麦秋、いい言葉の響きですね。黄金の様子を見せている麦畑。取り入れの後には、ムシムシ、ジメジメの梅雨の季節に入ってしまうのか。私の気持ちも、そんな時もあります。が、なもあみだごとお念仏申しつつ。くれぐれも、お大事にて。